

ゆくはしボックス連歌2020 ボックス連歌通信⑫

# 連歌作品募集(初折裏九)

## 応募方法

○連歌ボックス(コスメイト行橋・行橋赤レンガ館)  
メール・ファクス・郵便

- ・規定の応募用紙に必要な事項をご記入の上、ご応募下さい。
  - ・一人一句とします。
  - ・メールの場合は応募用紙と同等の内容をご記入ください。
- 選者 行橋市連歌企画委員(前田賤) ○投句料 無料

## 初折裏第八句講評

今回の応募は十五名でした。

## 初折裏第八句 風鈴が鳴る半月の夜 夕希 夏

この折の四句から六句まで三句ほど恋句が続きました。成就せぬが恋(恋が実らないこと)ではありますが、人生には恋の悩みが多く、人々にとっては重いものでもあります。そこに釈教(とは言い切れませんが)の前句に付けるとなるとちよつと引きますよね。ところが、素晴らしいことに今回の応募は圧倒的多数の遣り句をいただきました。まさに前句との二句呼応の付けあいの体得と言えましょう。

さてこの夕希さんの句、前句との付けは巡業中の旅所の寺の軒先に下げられた風鈴の音に心安らぎ、ふと仰いだ空に月が見えた。その月はなんと半月というのがいいですね。人はたいてい満月を詠みます。しかも巡業の半ばであることも思いやられますし。

ところで今回採用句の作者は小学生です。子や孫の世代に励まされるのもいいですね。希望でもあります。例年、連歌講座や連歌大会に中学生・高校生に交じって小学生も奮闘します。今年はそれが叶わないところ、ボックス連歌に小学生の応募があり大変うれしく、役目が一つ果たせたような気がします。今年も残すところ後わずかとなりました。次回初折裏第九句、五七五は夏を続けてもよく雑でも構いません。第十三で花を詠みますので春は避けましょう。障りは植物、水辺、山類です。よろしくどうぞ。

令和3年1月6日(水) 13時締め切り。

切り取り線

## 連歌応募用紙

- ※採用句発表のお知らせ方法をお選び下さい。
- メール ファクス 郵送

住所	氏名	ふりがな	性別	年齢
	(本名)		女・男	歳
〒				
電話番号				
( ) -				
FAX番号				
( ) -				
E-mail				

初折裏第七句	同行の彼方頼みに幾年ぞ	翠
初折裏第八句	風鈴が鳴る半月の夜	夕希 夏
初折裏第九句	(五・七・五)	

※応募作品は返却しません。また応募作品の著作権は当市に属するものとします。※いただいた個人情報取り扱いに注意するとともに、この事業の目的以外には使用いたしません。

☆これまでの採用句は裏面に掲載しています☆

## 【申込み・問合せ】

〒824-8601  
 福岡県行橋市中央1丁目1番1号  
 行橋市教育委員会 文化課  
 TEL: 0930-25-1111 (内線 1167)  
 FAX: 0930-25-1582  
 E-mail: bunkaka@city.yukuhashi.lg.jp